

道徳通信

大田区立馬込第三小学校
東 山 良 彦
道 徳 部
令和4年3月4日
第 6 号

年度当初より、不定期ながら「道徳通信」を発行してきました。馬込第三小学校のホームページにも、道徳通信が掲載されています。以前の配付した内容ですが、再度読み返すことができます。馬込第三小学校のホームページから、教育活動のページに進んでいくと、道徳通信が出てきます。ぜひ、お時間のあるときに覗いてみてください。

さて、2月19日(土)に道徳授業地区公開講座が開催されました。当日は、それぞれの学級が道徳授業を行いました。講師の橋本ひろみ先生には、すべての学級を参観していただきました。保護者の方に、直接授業の様子を見ていただいたり、講師の先生のお話を聞いていただいたりしたかったのですが、残念ながら実施できませんでしたので、今回の道徳通信では、道徳授業地区公開講座についてお知らせします。また、講師の先生の講演の動画をホームページにアップする準備が整いました。馬三映像教室に動画を掲載しています。既にお知らせしているIDとパスワードでお入りください。



講師の「橋本ひろみ」先生

それぞれの学級の道徳授業の様子

お話の前半は、それぞれの学級の道徳授業の様子についてです。大まかな内容を紹介します。

- ・授業の導入について、写真の提示がとても分かりやすかった。
- ・友達のことを聞きながら、頷いたりつぶやき合ったりしている。協働的な学びが大切。友達同士で「いいね。いいね。」「それも、あるね。」とやり取りが見られた。聞いている子たちが発言している子をしっかり見ている。子供の意欲、表現したい気持ちを大切にしていると感じた。
- ・規律の中に伸び伸びとした雰囲気がある。
- ・実物、具体物の準備がしっかりしてあった。事前の準備も大切である。
- ・先生の声を通る、笑顔で「今日の授業ではこういうことを考えるんだよ」としっかりと伝えている。
- ・子供たちと校長先生との関わりが素敵だと思った。
- ・正しいことを考えることが道徳ではない。正しいと分かっているけど、できないことや難しいことをしっかりと考えていた。正しいことをバンと押し付けている授業ではなくて、できないこともあるよね、でも、やっぱり大切だよねということを授業で生かしていた。
- ・集中して話すことで大切なことを考えている。それが楽しい授業につながっている。
- ・協働する学び、互いに学び合って高め合う学びは、今、どの授業でも大切なことである。
- ・ICTを活用した授業を行っていた。総合的な学習の時間のことが話題になっていた。他の教科の学習が道徳科の授業の中で生かされている。
- ・一人の意見から全体に広げたり、班活動を取り入れたりしていた。どの子にも自分の思いを表出させたいという思いが伝わってきた。
- ・道徳はたくさん意見がでるので、どう思考を整理するのが大切。板書の中で子供たちの考えが整理されていた。
- ・道徳の授業は、自分との関わりとで考えさせることが大切である。「あなたもそういうことがあるんじゃないかな。」という視点があった。

お話の後半は、「学校の道徳教育が目指す子供の姿」についてです。

道徳教育の目指すもの



道徳教育は、登校から下校の時間まで、すべての時間で行っています。「挨拶はしっかりしましょう。」「ポケットに手を入れないで歩きましょう。」すべてが目的をもった道徳教育です。友達と仲良くなるための休み時間の喧嘩の仲裁もします。これらの道徳教育は、「～しましょう。」「～してはいけません。」という他律的な内容です。道徳教育の目指すものは、他律から自律です。自律とは、自分が「本当にそれがいいな」と思って行動できる子供を育てることが目的です。自分で考えて自分で行動できる子供を目指して、学校は道徳教育を行っています。

道徳性の評価については、場面によって、道徳性の表れ方が違うこともあり、いつも「こうである。」と言えるわけではありません。天使のような自分や鬼のような自分も表れます。道徳が教科化になったときに、道徳性の評価はしません。ただ、道徳性を育てるための学習をどうしていたかは、記述しますということで、通知表に記載をすることが評価となっています。

子供たちは、保護者の方の協力を得て、地域の中で育っています。それは、どれだけ幸せで大切なことか、子供たちは、地域や家庭での育ちがどれだけ大きいかということも感じています。学校、家庭、地域の三者が子供を育てるのは大切です。実家に帰って、「たばこ屋さんのおじさんが亡くなってしまった。」と聞くと、とても寂しい思いをします。おそらく、たばこ屋さんのおじさんは、私を知らないと思いますが、私はとても寂しい思いをします。私が子供の頃、地域の「羽根つき大会」で得点を数えてくれて応援してくれたおじさんなのです。それは、大人になってもずっと覚えています。地域の行事でお世話になったり優しくしてくれたりした経験は、大人になっても大切です。地域の人の中で育つことは、子供たちにとって幸せなことです。

子供たちは、いろいろな辛い思いも悲しい思いもしながら育っていきます。辛い思いや悲しい思いをしたときに「いい勉強になったね。」と言ってもらえることで、立ち直れることがあります。辛い思いをしたなと思うときも「いい経験したね。」「よく頑張ったね。」「次は大丈夫だよ。」と励ましてあげてください。子供がいろんな思いをしながら育っていくということは、傷ついたりします。時には、傷つけたりもします。子供の気持ちを応援していく大人でありたいと思います。支えていく絆を地域の方や保護者や学校の職員で築いていくことが、子供たちにとって幸せなことだと思っています。

いかがでしたでしょうか。今回は、道徳授業地区公開講座について詳しくお伝えしました。講師の先生の動画は、馬込第三小学校のホームページの映像教室に掲載されています。動画は全部で約40分です。ただ一度に40分の掲載ができなかったため、3つに分けて掲載しています。視聴には、パスワードが必要です。各御家庭に学校緊急連絡システム（メール配信）でお知らせしております。是非、御覧ください。

現在のページ [馬込第三小学校](#) > [情報共有ページ](#) > 馬三映像教室

馬三映像教室

道徳授業地区公開講座講演(橋本ひろみ先生)

- [講演1\(外部サイト\)](#)
- [講演2\(外部サイト\)](#)
- [講演3\(外部サイト\)](#)

トップページ→情報共有→馬三映像教室→
道徳授業地区公開講座講演→（視聴）

学校概要

現在のページ [馬込第三小学校](#) > [教育活動](#) > 道徳通信

道徳通信

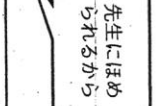
- [道徳通信第1号 \(PDF: 686KB\)](#)
- [道徳通信第2号 \(PDF: 423KB\)](#)
- [道徳通信第3号 \(PDF: 475KB\)](#)
- [道徳通信第4号 \(PDF: 407KB\)](#)
- [道徳通信第5号 \(PDF: 526KB\)](#)

トップページ→教育活動→道徳通信

他律から

親に叱られるから

先生にほめられるから



学校の道徳教育

すぐ行動につなげる指導

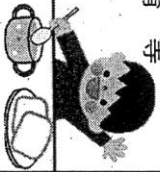
登校から下校まで全ての教育活動で、すぐに行動につなげるための道徳教育を行っています。以下は教育の場面や内容の例です。

1 行為・行動の指導

日々の生活指導 学校行事 異年齢交流活動
突発的なトラブル 人権 いじめ防止
情報モラル 防災 交通安全 食育 等

2 感化・涵養の教育

- 次のような指導でも心を育てます
- 各教科の授業を充実することで
- 学校の清掃・美化 教室環境を整備することで
- 教職員の誠実な姿を子どもに見せることで



学校の道徳教育が目指す子どもの姿

子どもが主体的な判断の下に行動し
他者と共によりよく生きるための基盤

道徳性を養う 他律から自律へ

道徳科の授業

行動につなげることを押し付けず
自分で考え自覚を促す指導

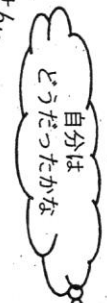
1 内面的資質育成のための授業

道徳教育の要の時間です。他から価値観を押し付けられることなく 子どもが自ら、自分自身をじっくりと見つめるための授業です。そのために、他者の価値観に触れ、自分の価値感を広げ深めるために次のような学習をします。

- 今まで意識していなかったことを改めて考える
- なんとなく感じていたことを言語化することで自覚する
- 自分とは違う他者の思いに触れる 他者の思いから自分の思いを見つめる

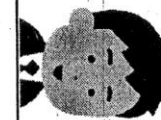
2 道徳科の評価

道徳性の評価ではありません。
気付きや価値観の深まりなど、授業での学びを見取って記録します。



自律へ

自分が
そうしたほうが
気持ちがいいから



家庭・地域と共に

学校・家庭・地域の連携を重視して

学校は、家庭・地域の理解を得て、連携し、協力を得ながら道徳教育の充実を図るために、道徳授業地区公開講座を実施しています。

家庭、地域社会は、子どもが育つ基盤であり、それぞれのよさや特色を生かした多様な体験の場でもあります。人とのつながりの温かさは、子どもの健やかな成長を支える大切なものとなります。
学校・家庭・地域の連携は大切です。今後ともご協力をよろしく願います。

